

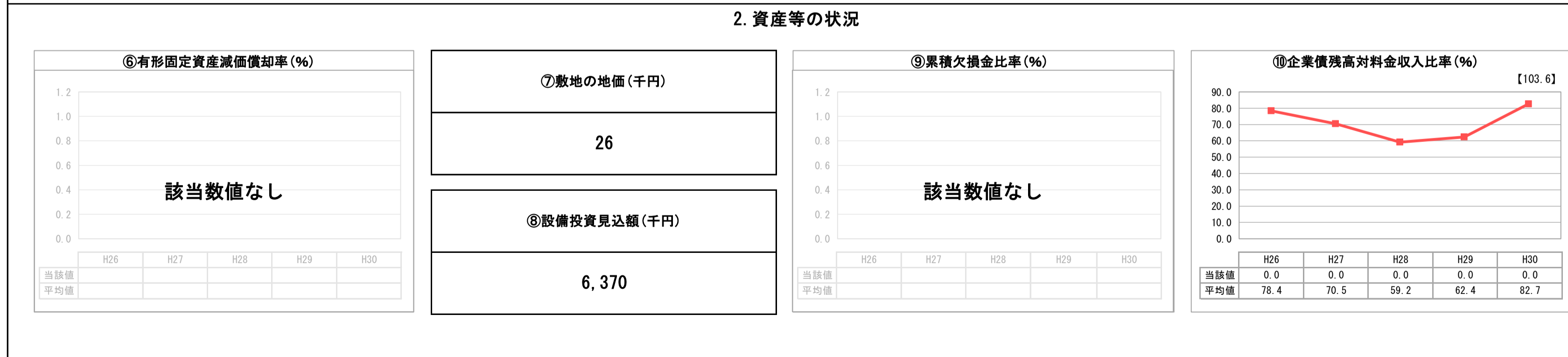
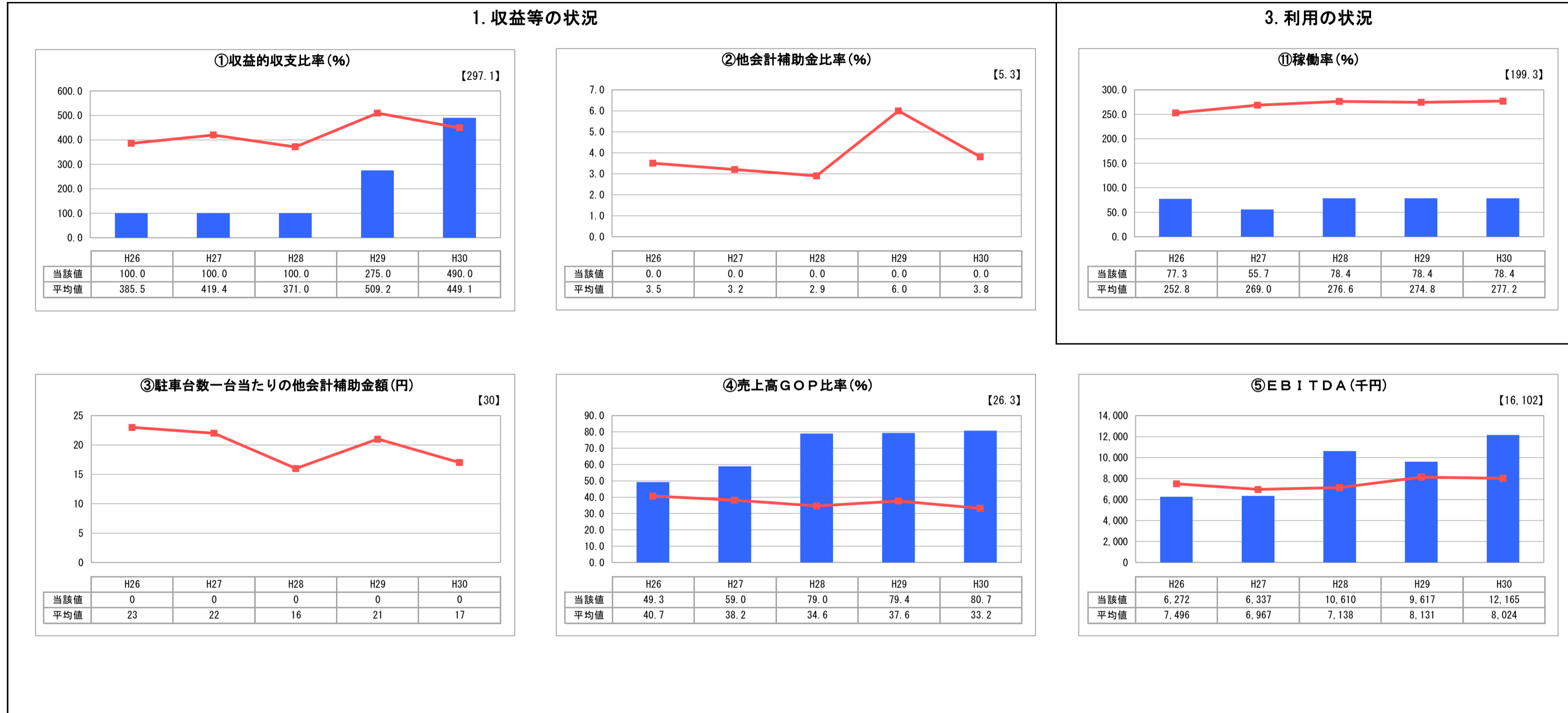
# 経営比較分析表（平成30年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅東駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	19	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	2,152
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
97	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均



### 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①平成29年度から収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率(営業利益)は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は類似施設平均値を上回っており、安定した経営を行っている。

**2. 資産等の状況について**  
 企業債の借入れは行ってない。  
 現在の設備は平成13年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、設備更新が見込まれる。  
 令和2年度に精算機、発券機の更新を予定している。

**3. 利用の状況について**  
 ⑪稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。  
 利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

**全体総括**  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ねる。また令和2年度に設備の更新と利用料金の値上げを予定しているため、安定した経営が行えるよう努めていく。

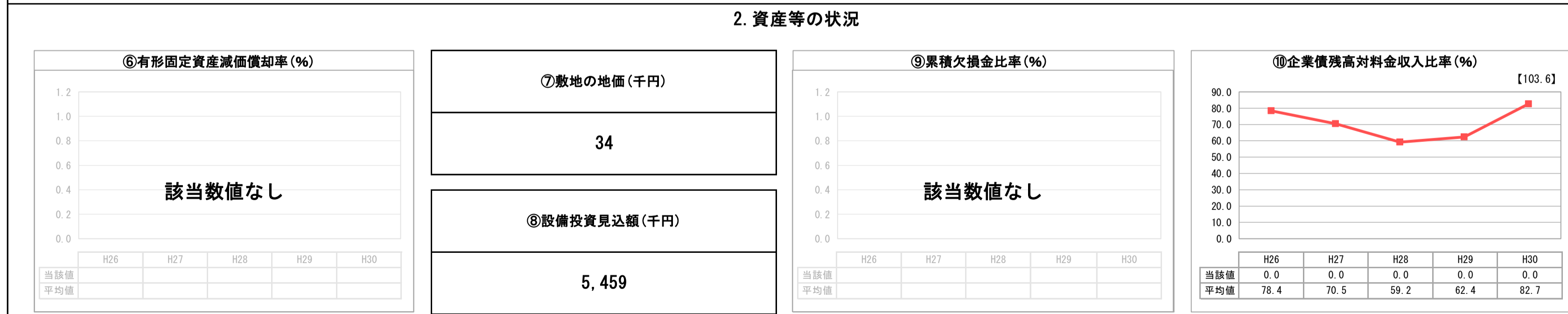
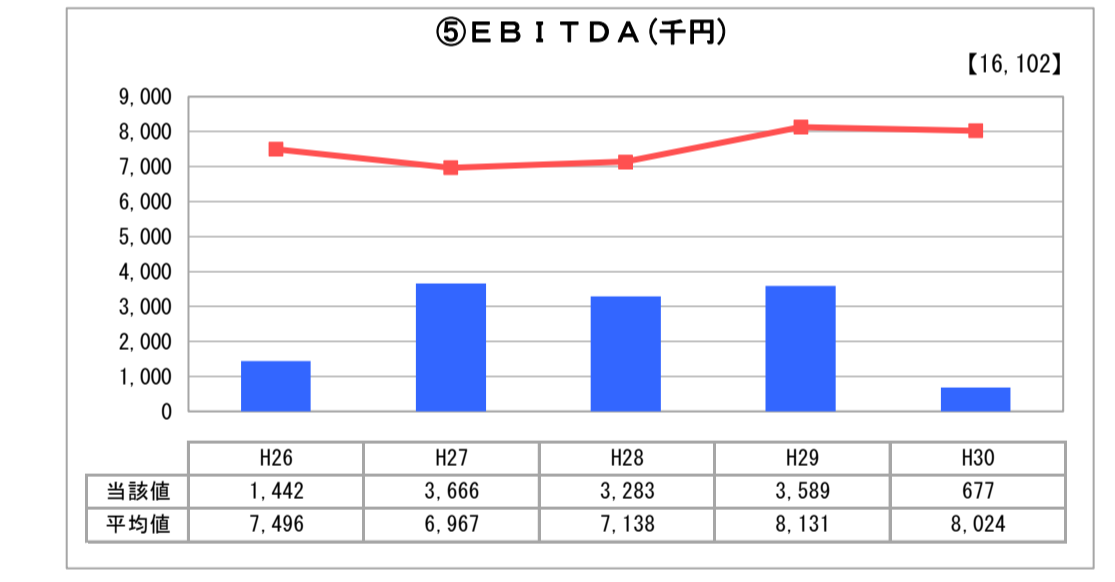
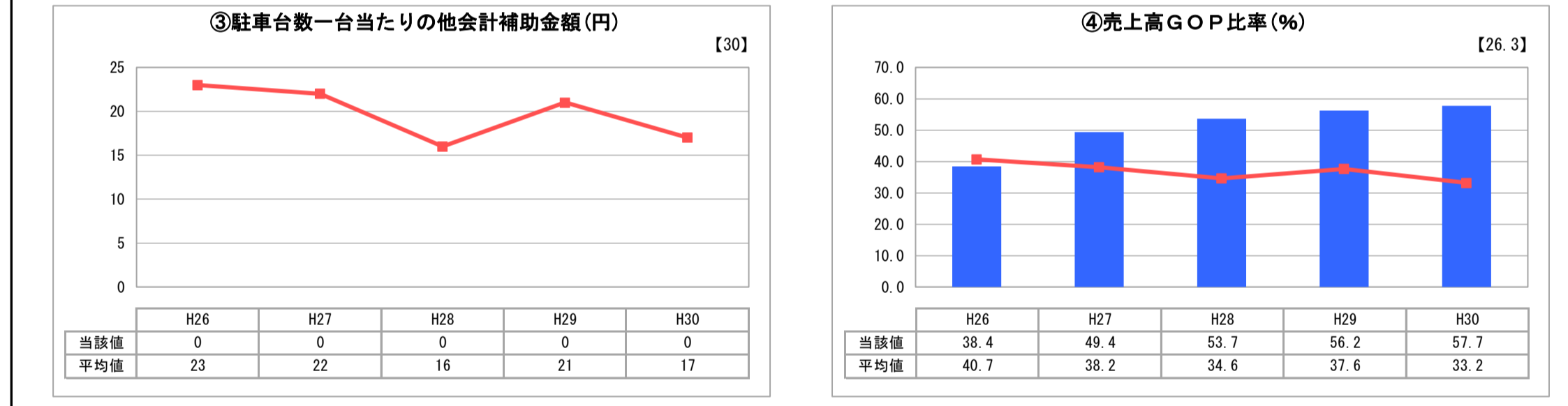
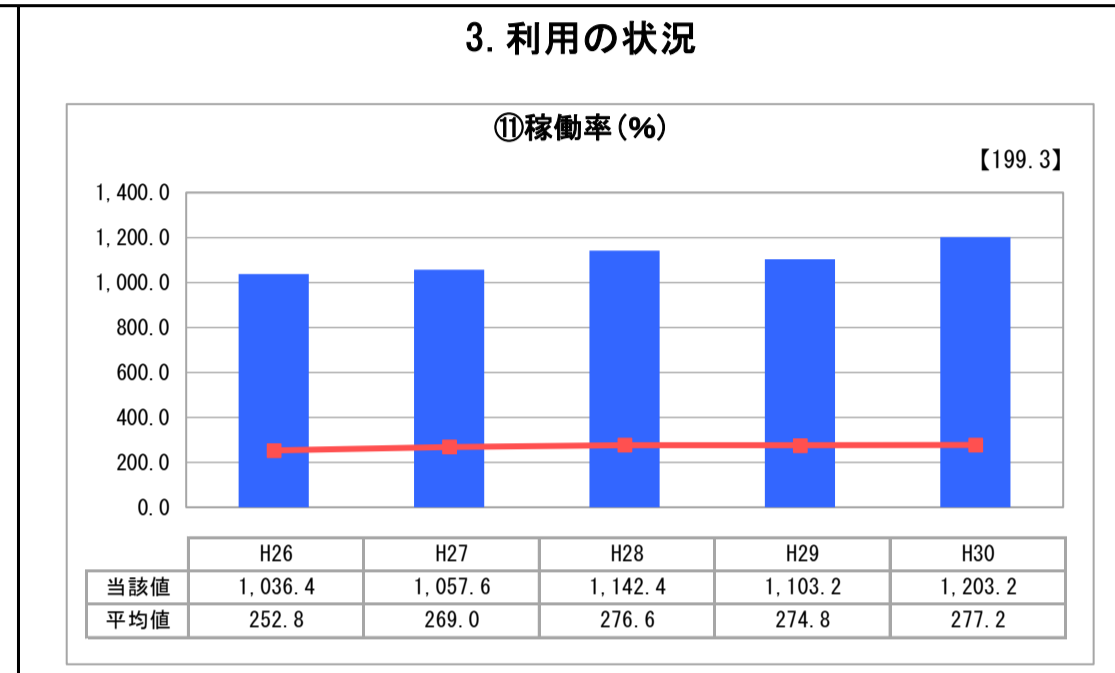
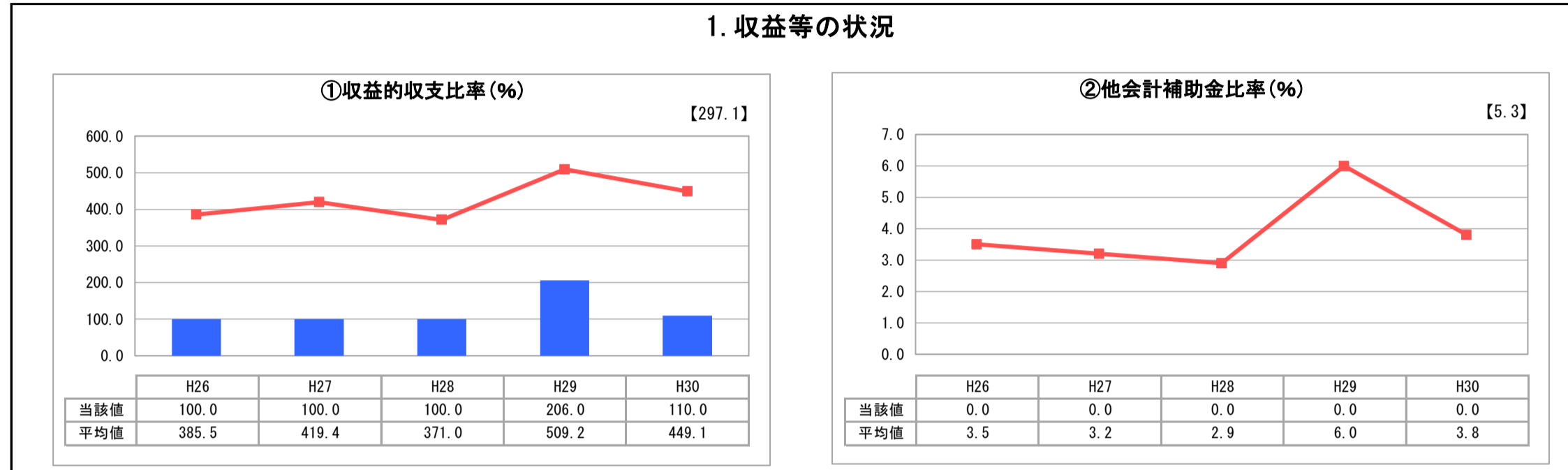
# 経営比較分析表（平成30年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	31	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	901
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
31	100	導入なし

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均



### 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①平成29年度から収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率(営業利益)は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は類似施設平均値を大きく下回っている。要因として、収容台数が31台しかないことが挙げられる。また、平成30年度は駐車場の進入路の舗装を行ったため、例年より低くなっている。

**2. 資産等の状況について**  
 企業債の借入れは行っていない。  
 現在の設備は平成13年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、設備更新が見込まれる。  
 平成31年度に精算機、発券機の更新を予定している。

**3. 利用の状況について**  
 ⑪稼働率は類似施設と比べ高い水準で推移している。要因として、1時間の無料時間を設けており、駅および周辺施設の短時間利用が挙げられる。  
 利用実態として、日中・夕方に満車状態になることが多く、早朝・夜間は空車が目立つ傾向がある。

**全体総括**  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ねる。また設備の更新を予定しているため、安定した経営が行えるよう努めている。

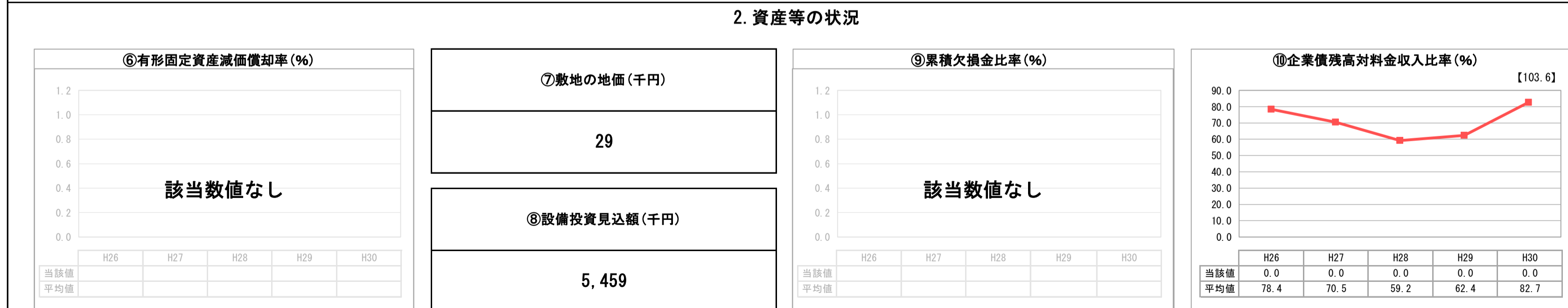
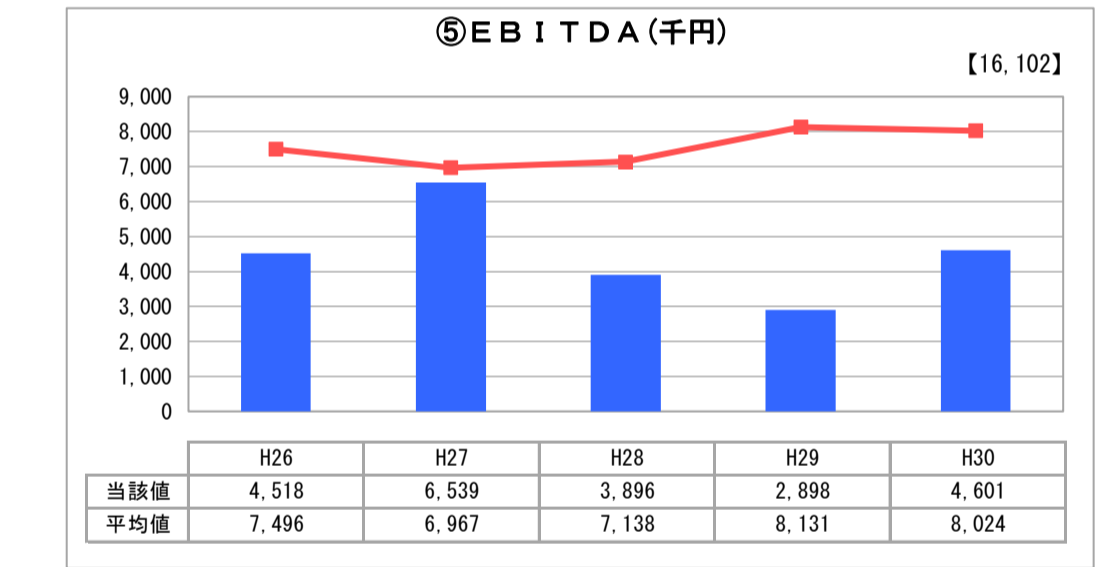
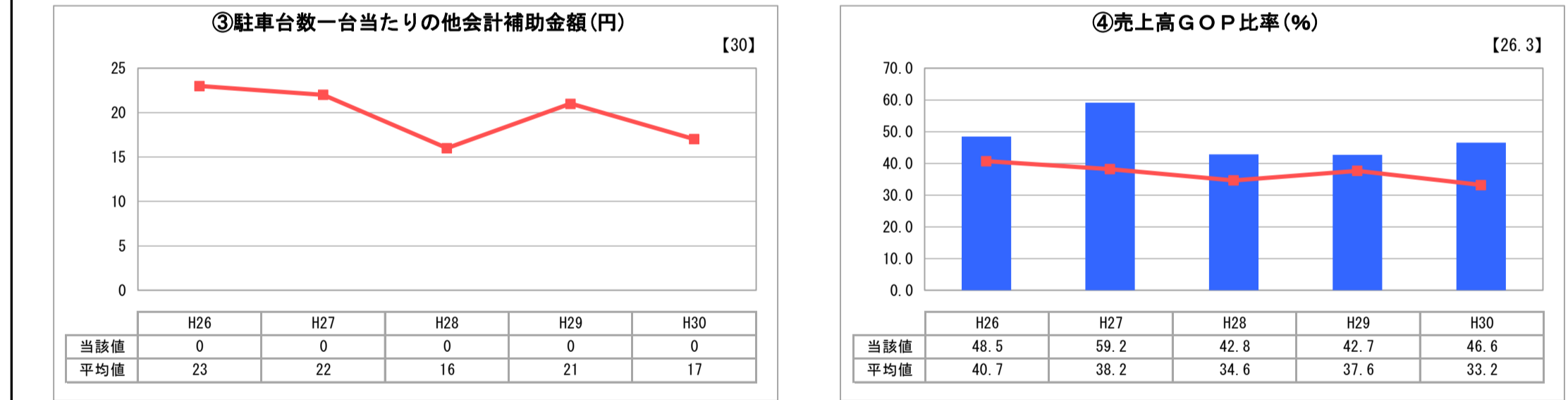
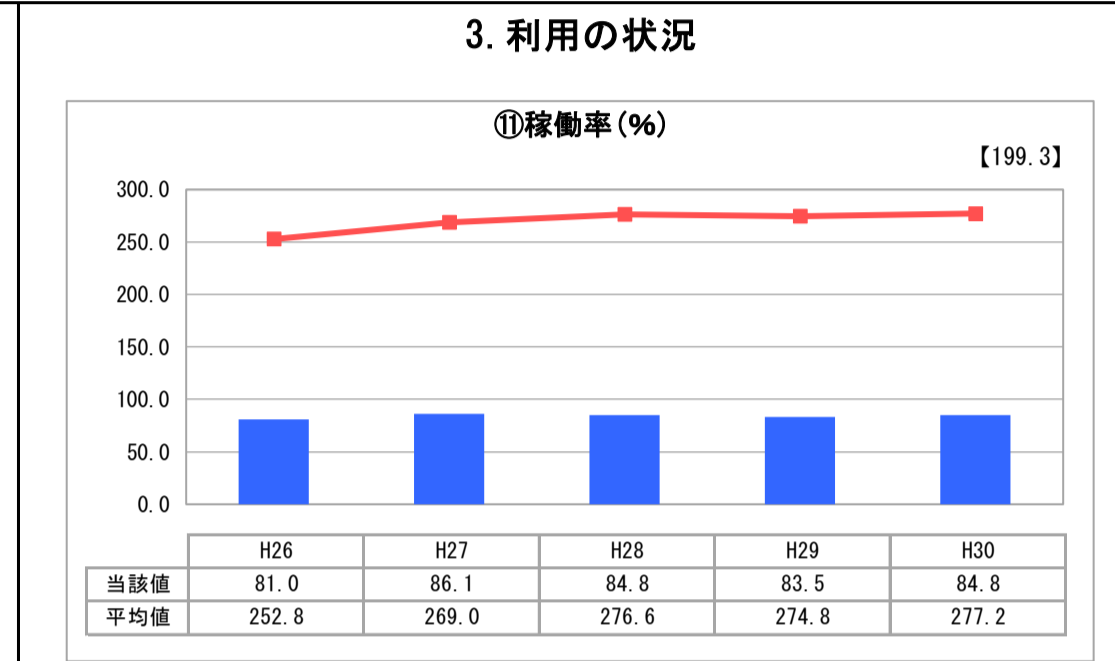
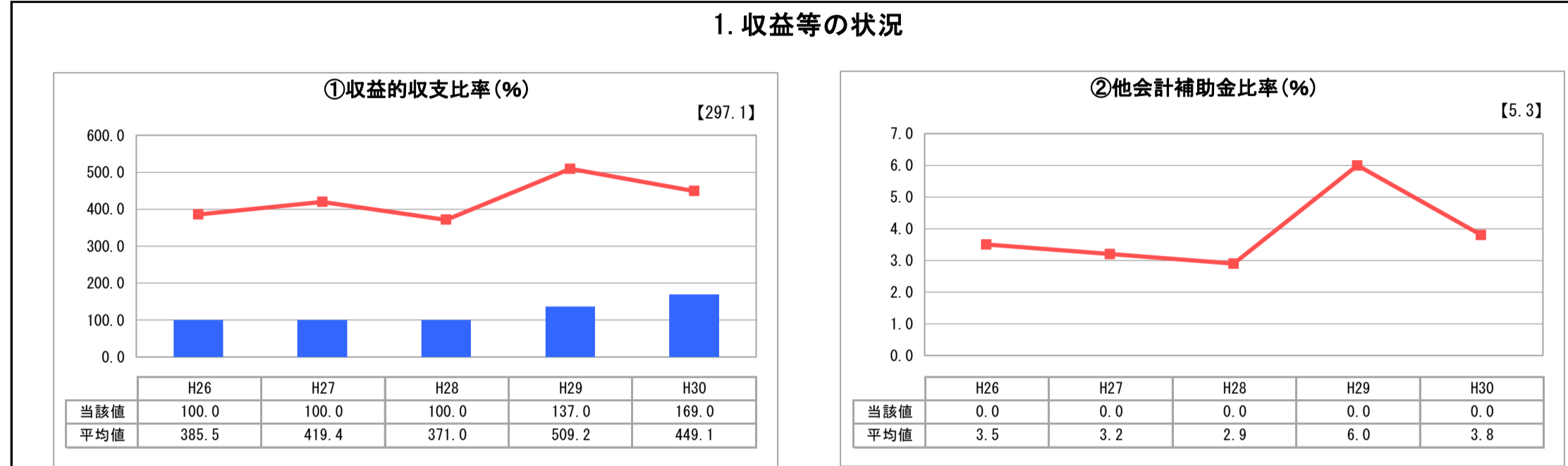
# 経営比較分析表（平成30年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅東第2駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	19	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	1,764
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
79	300	導入なし

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①平成29年度から収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率(営業利益)は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は、類似施設平均値を下回っている。要因としては、①駐車場敷地の借地料が高いこと②少ない収容台数(79台)であることが挙げられる。

**2. 資産等の状況について**  
 企業債の借入れは行ってない。  
 現在の設備は平成13年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、設備更新が見込まれる。  
 令和2年度に精算機、発券機の更新を予定している。

**3. 利用の状況について**  
 ①稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。  
 利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

**全体総括**  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ねる。また令和2年度に設備の更新と利用料金の値上げを予定しているため、安定した経営が行えるよう努めていく。



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

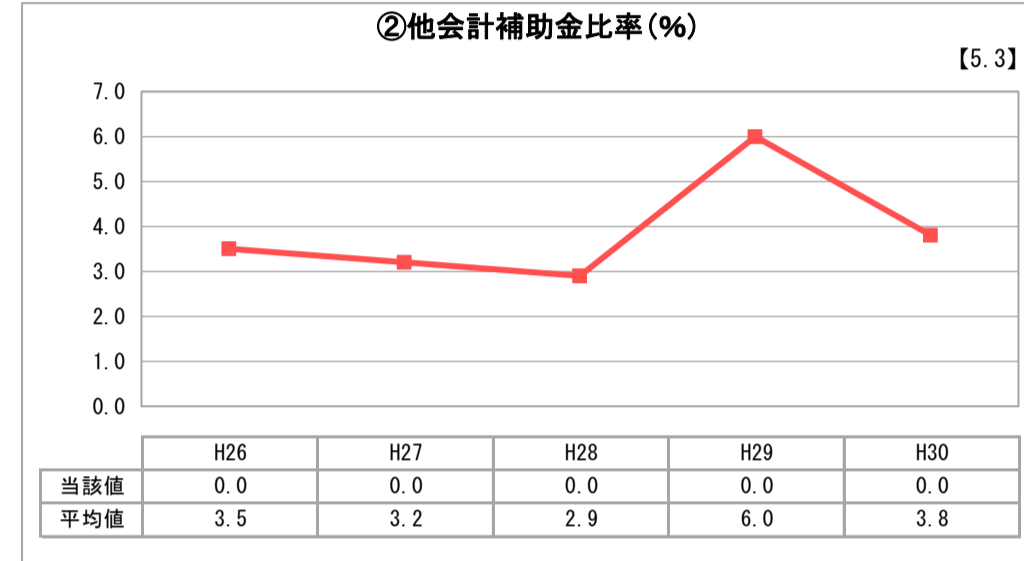
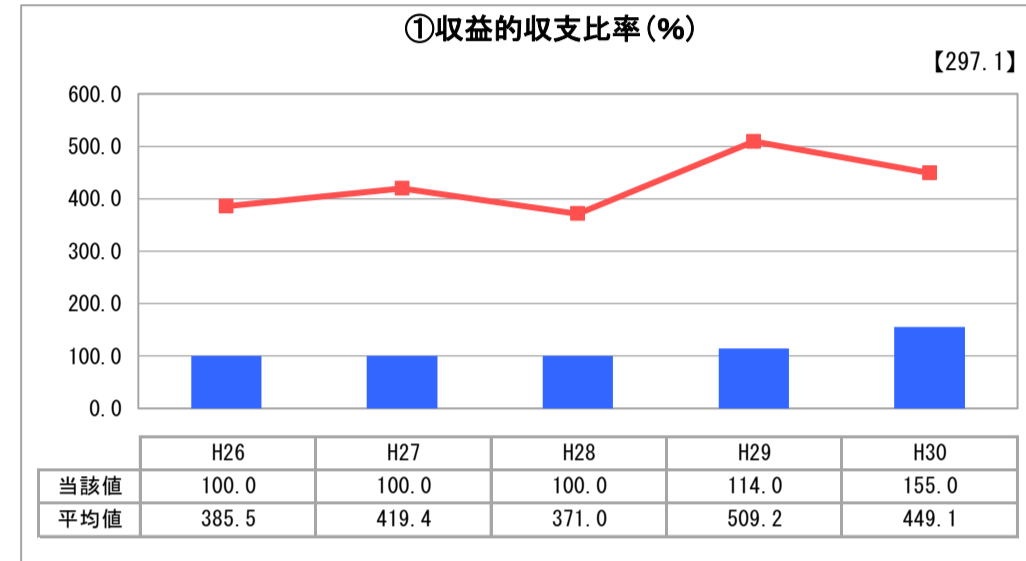
福井県鯖江市 鯖江駅東第3駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	15	

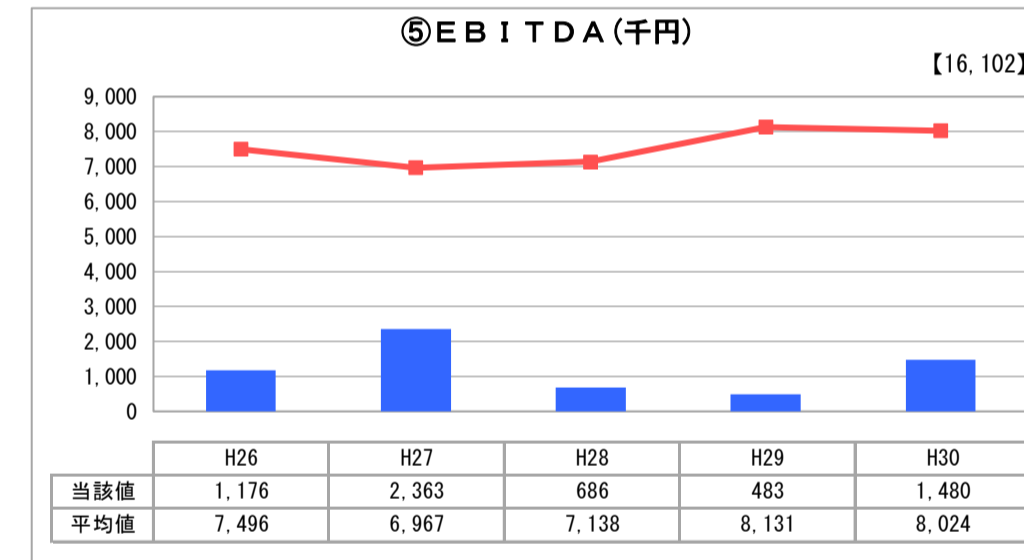
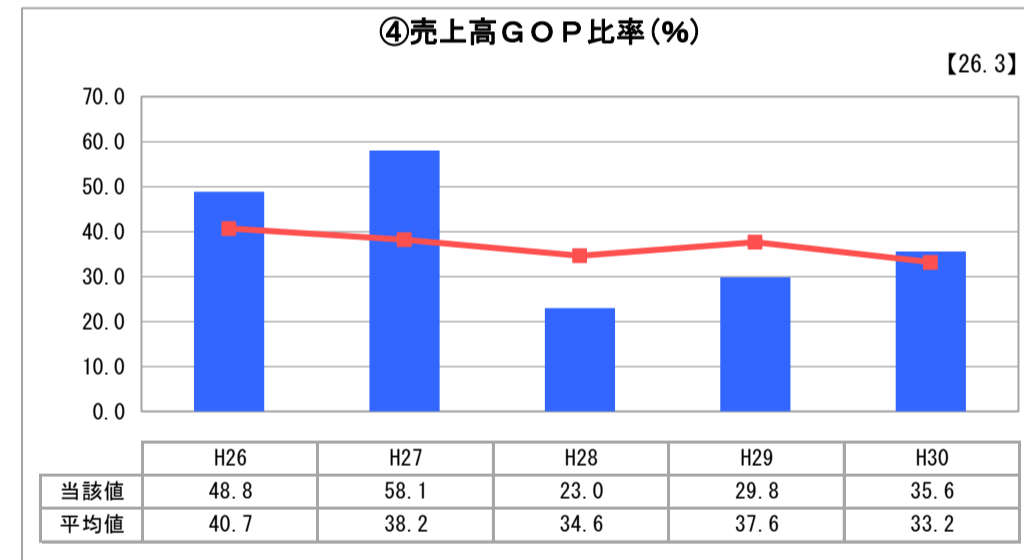
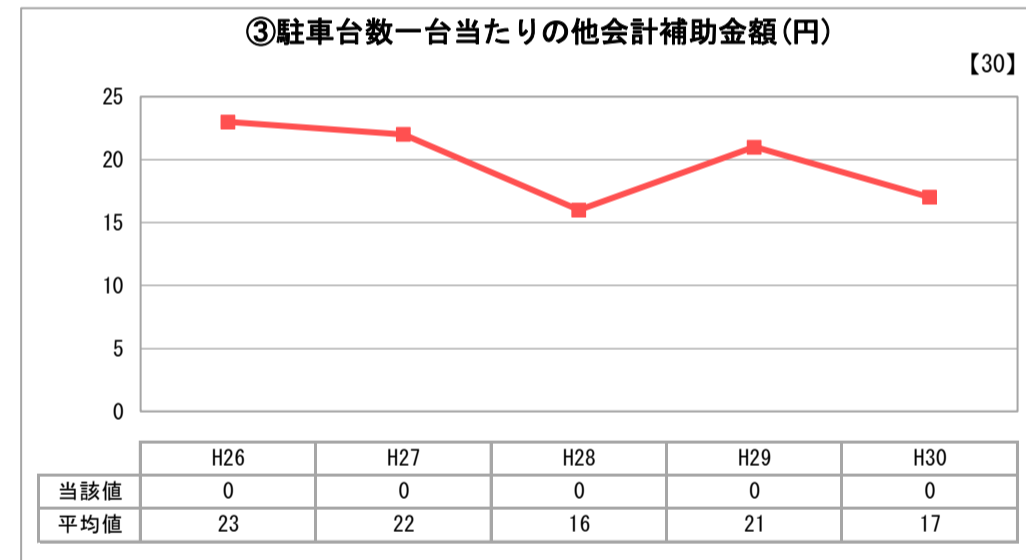
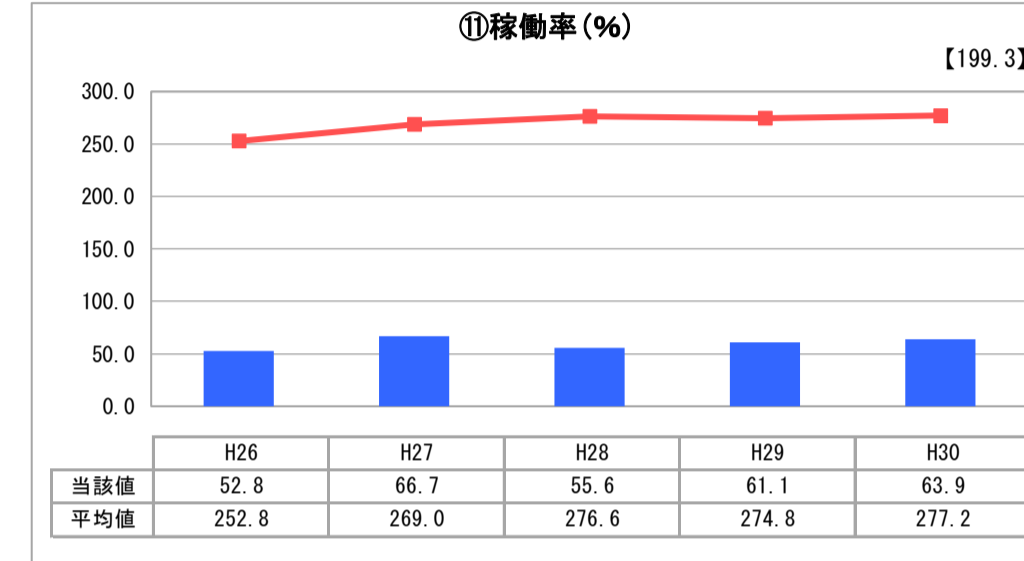
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	924
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
36	300	導入なし

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



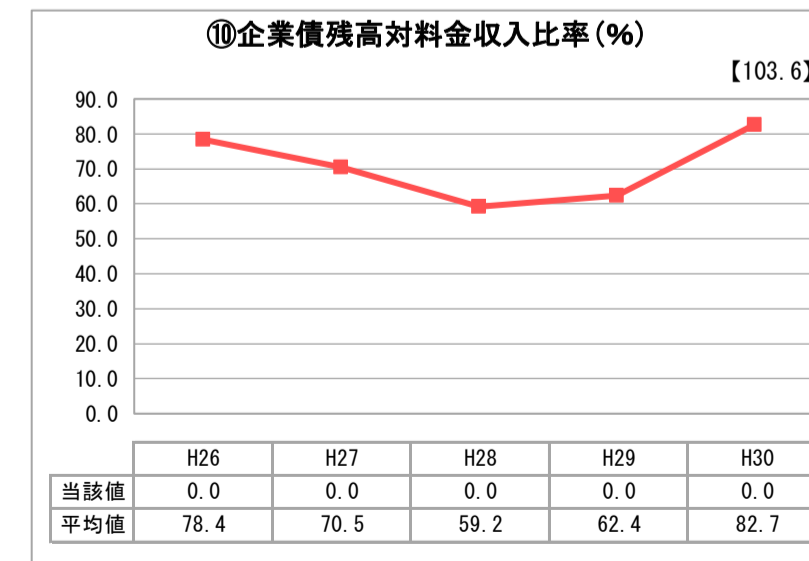
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	25
⑧設備投資見込額(千円)	6,538



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①平成29年度から収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率(営業利益)は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は、類似施設平均値を下回っている。要因としては、少ない収容台数(36台)により①料金収入が少ないこと②委託料が割高となることなどが挙げられる。

2. 資産等の状況について  
 企業債の借入れは行ってない。  
 現在の設備は平成13年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、設備更新が見込まれる。  
 令和2年度に精算機、発券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。  
 利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括  
 経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、歳出減の経営努力を重ねる。また令和2年度に設備の更新と利用料金の値上げを予定しているため、安定した経営が行えるよう努めていく。

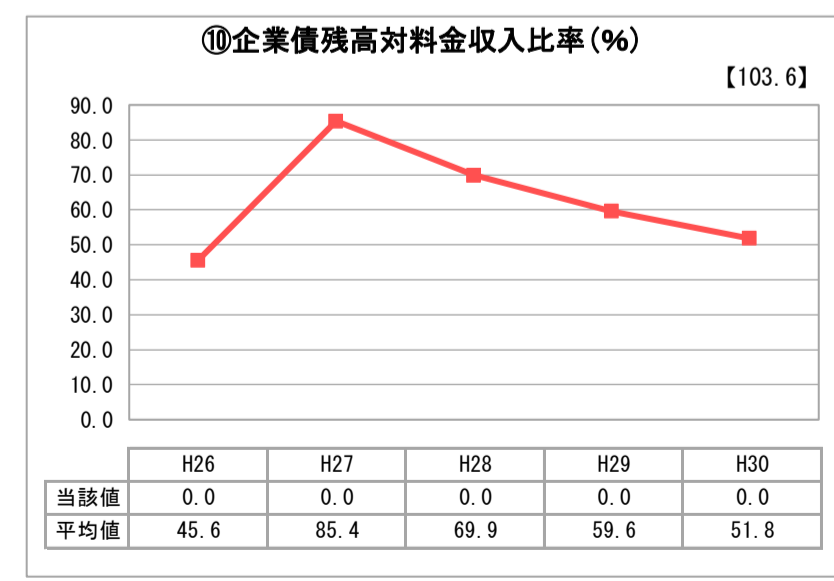
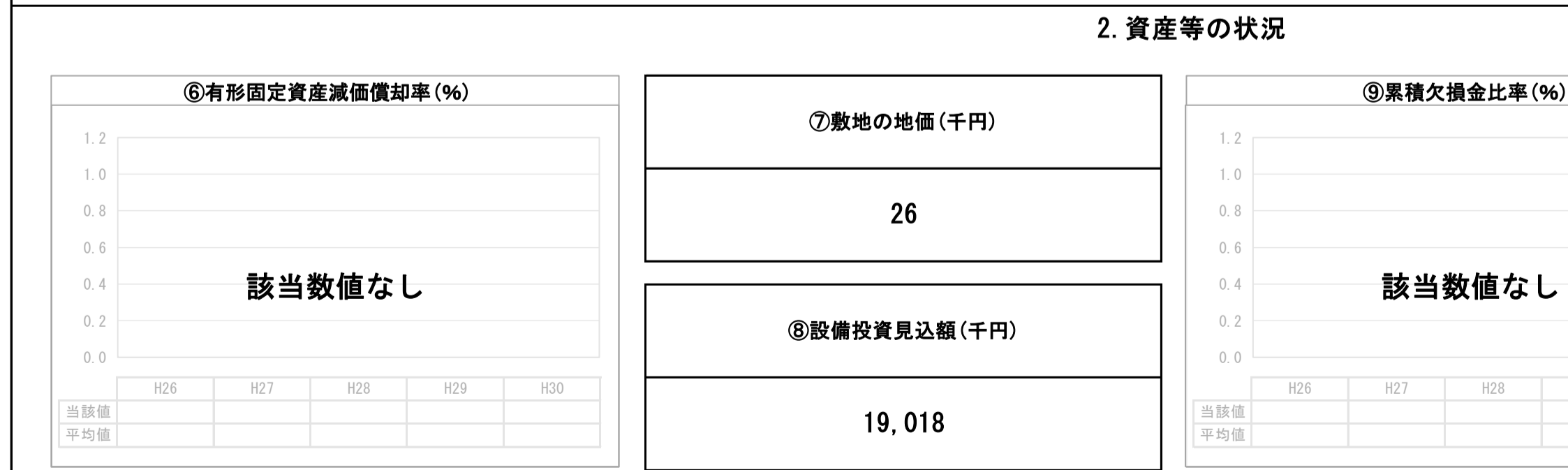
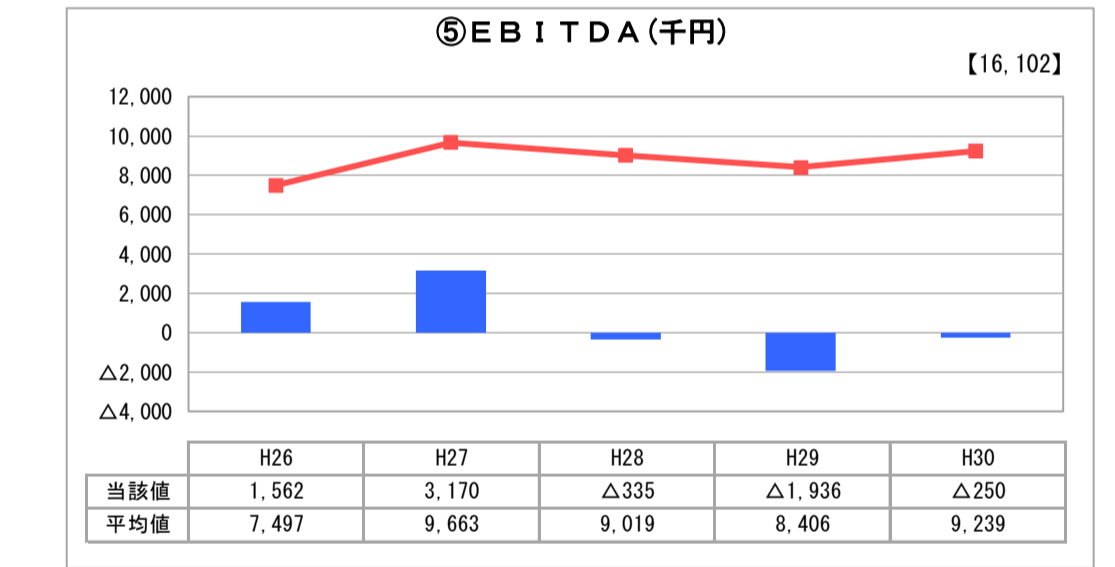
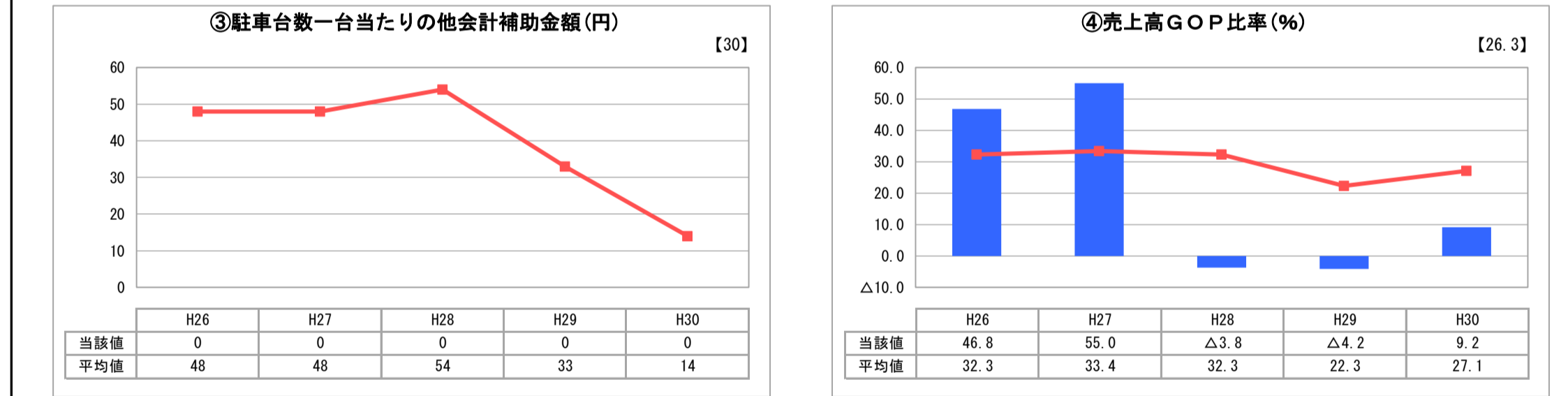
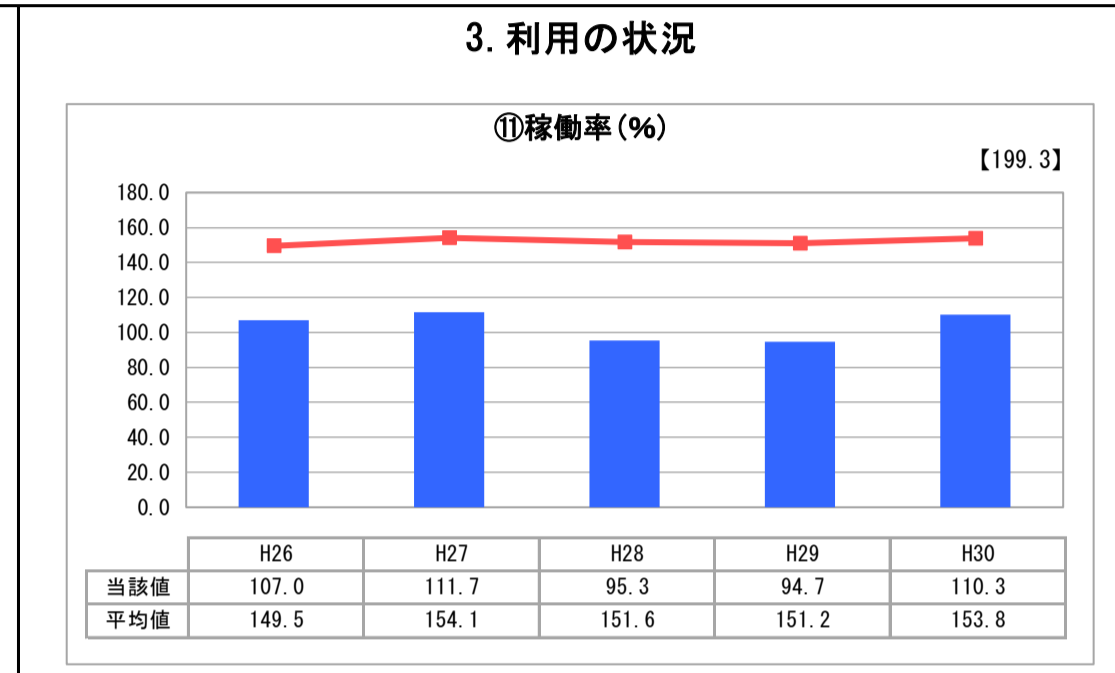
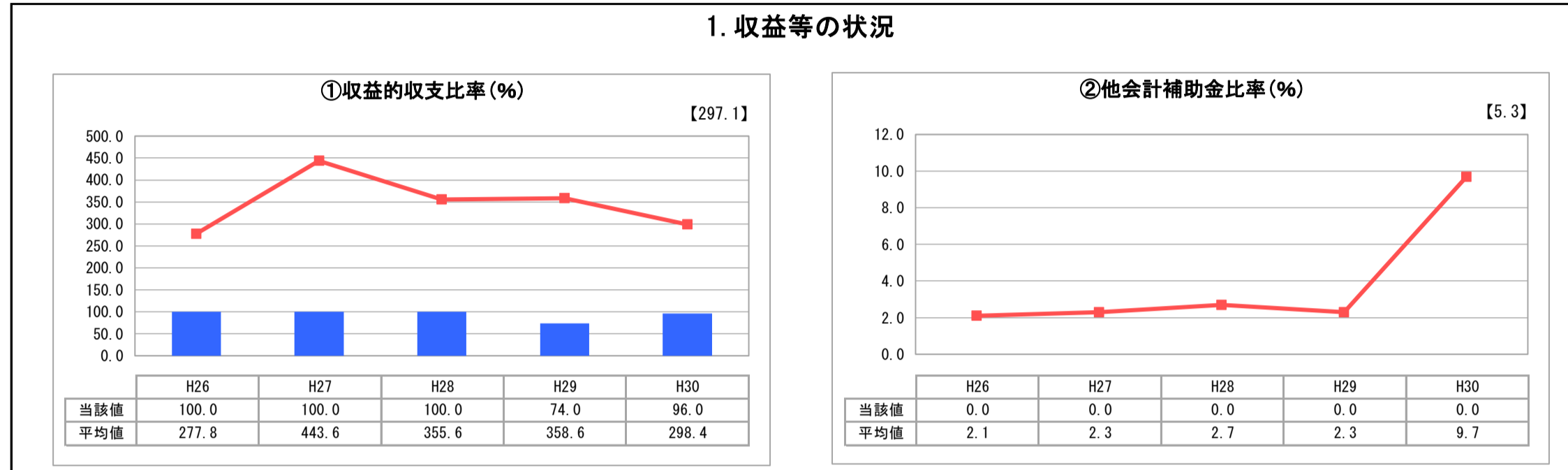
# 経営比較分析表（平成30年度決算）

福井県鯖江市 文化センター前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	19	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	7,953
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
300	300	導入なし

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均



### 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①平成29年度から収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を下回り、不足部分を他の駐車場に依存している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率(営業利益)は、平成28年度に営業費用の算出方法を変更し、営業費用が増加し、マイナスとなった。近年は改善傾向にある。  
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)も算出方法の変更を行い、マイナスとなっている。要因としては、(1)出入口が3カ所あるため設備の管理委託費が高いこと(2)4時間の無料時間を設けており、料金収入が低いことが挙げられる。

**2. 資産等の状況について**  
 企業債の借入れは行ってない。  
 現在の設備は平成13年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、設備更新が見込まれる。  
 特に精算機、発券機の故障が多いため、今後、更新を予定している。

**3. 利用の状況について**  
 ⑪稼働率が低い要因として、(1)体育館、陸上競技場、文化施設が隣接し、土日祝日の日中のみ利用が集中するため(2)駅、商店街から遠いため、利用が限られていることが挙げられる。  
 利用実態としては、土日祝日の利用率は高い。平日、イベントのない時間帯は空車が目立つ傾向がある。

**全体総括**  
 当駐車場は、総合体育館、陸上競技場、文化施設の隣接する施設であり、路上駐車防止や交通渋滞の緩和、イベントの開催など広く市民に利用されている。  
 今後、令和2年度に利用料金の値上げを予定している。また、施設の更新が近づいているため、管理費の低くなるよう方法を検討するなど、安定した運営をしていきたい。

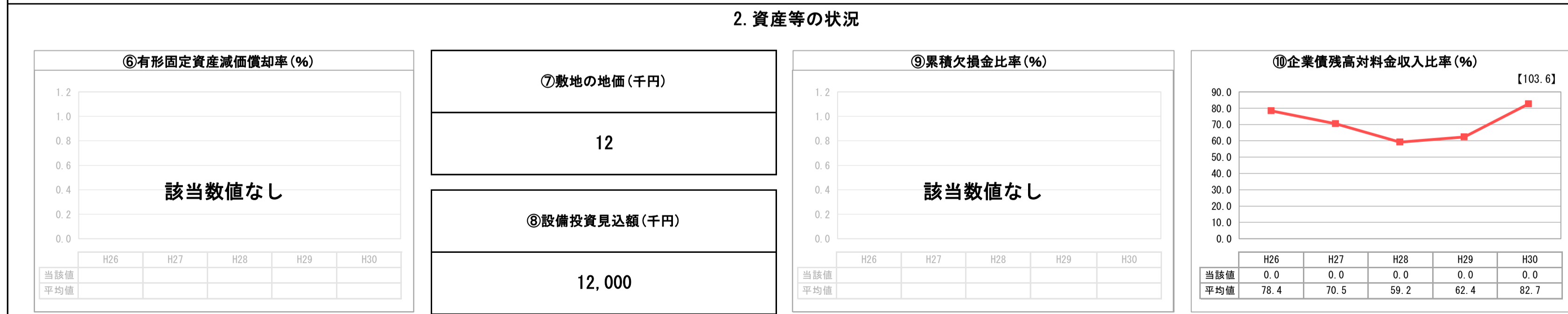
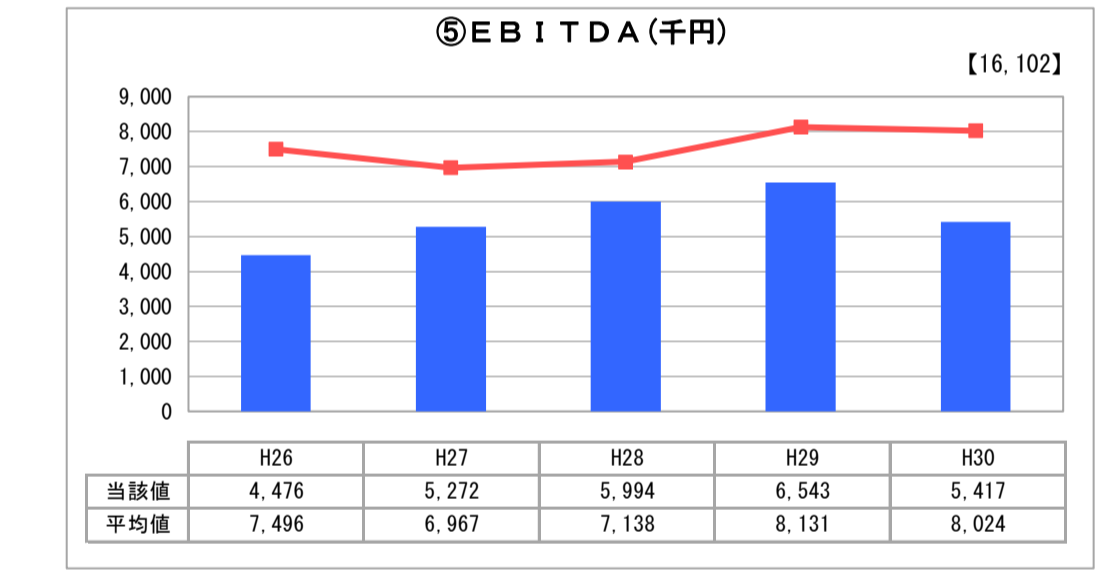
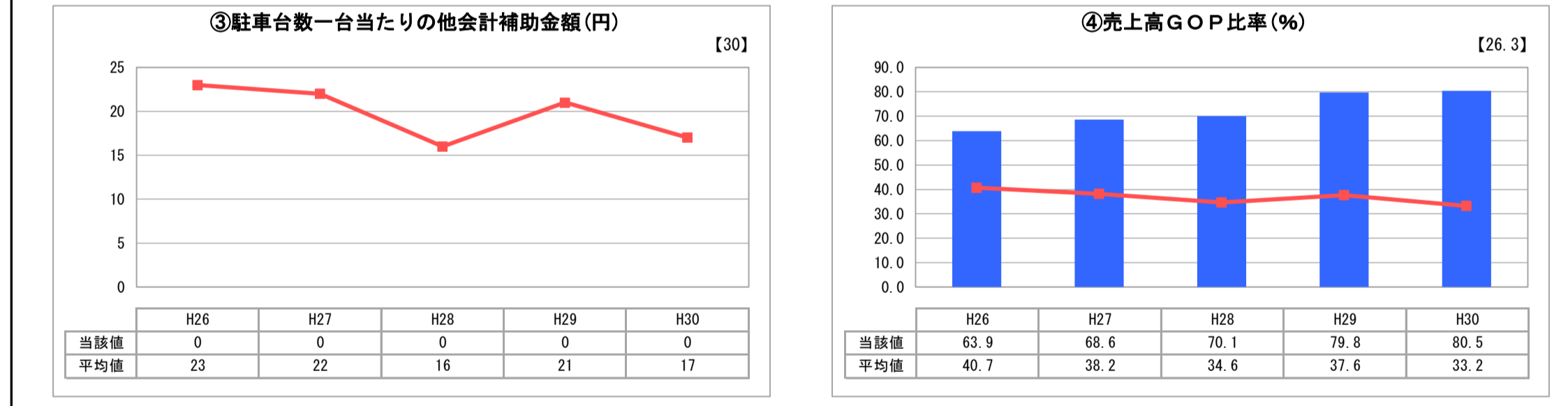
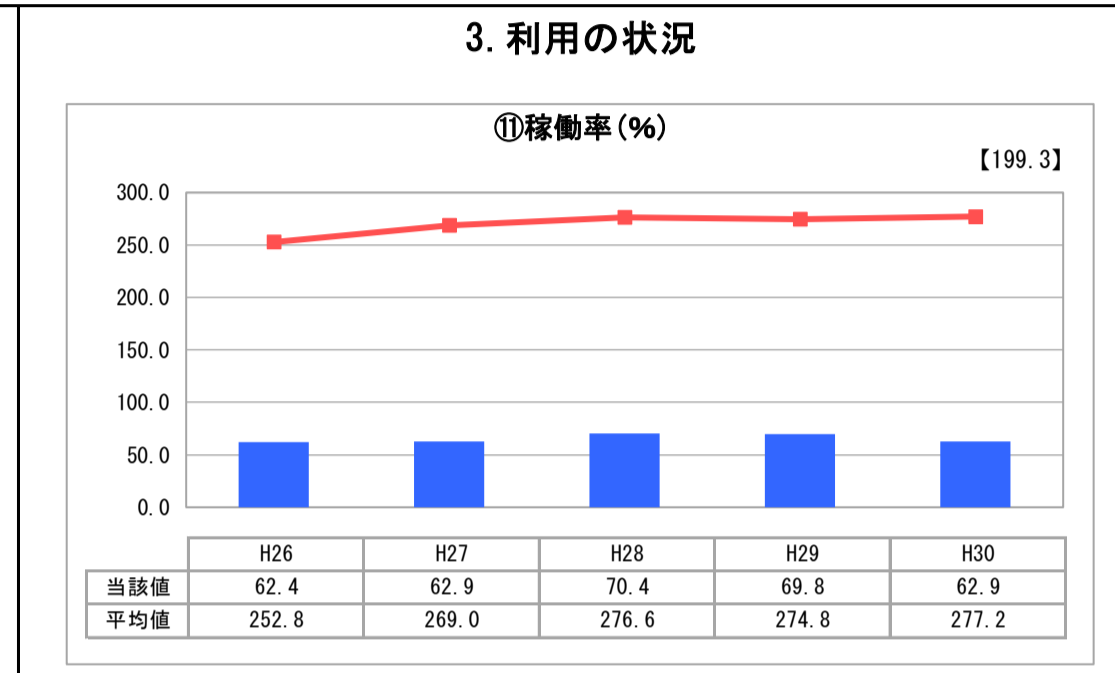
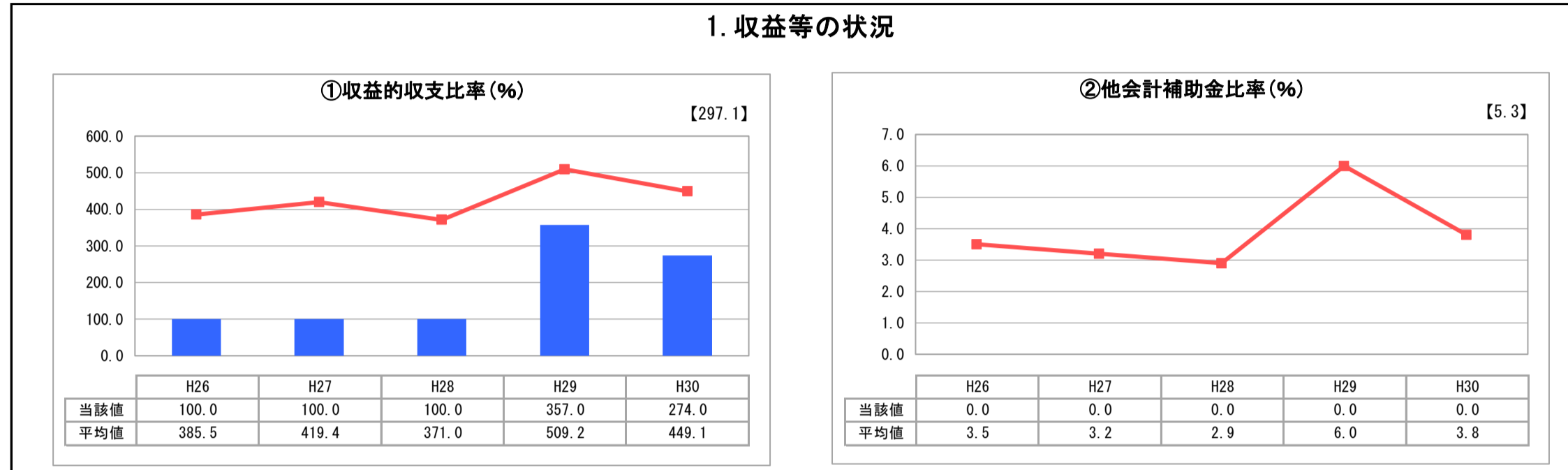
# 経営比較分析表（平成30年度決算）

福井県鯖江市 北鯖江駅周辺駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	15	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	3,823
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
159	300	導入なし

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均



### 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①平成29年度から収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。  
 ②③他会計補助金は受けていない。  
 ④売上高GOP比率（営業利益）は類似施設平均値を上回っており好調である。  
 ⑤EBITDA（減価償却前営業利益）が下がった要因として、①フェンス工事やテント修繕などを行い、歳出が増えたことが挙げられる。

2. 資産等の状況について  
 企業債の借入れは行ってない。  
 現在の設備は平成12年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、設備更新が見込まれる。  
 今後精算機券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから滞在時間が長く、回転率が低くなることが要因と思われる。  
 利用実態として、定期券利用者が大半で、近年定期券は売り切れている。ただこれ以上定期券を増やすと時間利用者が停められないことが想定されるため、空き台数の調査を継続的に行い、駐車場の空きスペースを最大限利用できるよう維持していきたい。

### 全体総括

経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。現状の稼働率が上がると、定期券利用者が利用できなくなるおそれがあるため、定期券の発行枚数の制限を継続し、歳出減の経営努力を重ねる。また設備の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。